



元気通信

ブダペスト日本人学校

学校だより

平成28年11月18日号

【BJSレク】(児童生徒会担当 甘利・佐藤)



新児童生徒会に引継ぎが行われてから、はじめてのBJSレクが行われました。

今回は、しっぽとりゲームをしました。赤・青・黄・緑の4色のチームに分かれて、互いのしっぽを取り合うという初めての取り組みでした。新児童生徒会の寺岡さん、柴田さん、佐脇さん、児玉さんは、ドナウ祭準備の合間を縫って集まり、自分たちの休み時間を使って準備を進めました。自分たちで声を掛け合い、積極的に準備を進める姿は、大変たのしかったです。

一方、当日の活動は盛り上がりを見せたものの、説明に時間がかかったり、ルールの曖昧さで混乱が生まれたり、いくつかの課題が見られました。

事前の計画をもっとしっかり立てておくことや、役割分担をして、効率よく全体を動かしていくことなど、これから改善していかなければいけないことがたくさん見つかりました。

中学部3年生は、これまでにそうしたリーダー経験を幾度もしてきたので、当日にはフォロー役に回り下級生に声をかけたり、自ら率先して行動したりするなど、新児童生徒会のメンバーを陰ながら支えてくれる姿がたくさん見られました。リーダー役をおりた後は、後輩をしっかりフォローするという姿に、本当のリーダーとしての育ちを感じました。

【PTA外清掃のお礼】(PTA担当 太田)

10月27日、11月4日の両日にわたり、お忙しい中、多くの保護者の皆様に学校周辺の落ち葉拾いをいただきました。皆様のおかげで、校庭はすっきりときれいになりました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

また、PTA役員の皆様におかれましては、事前準備から当日の運営に至るまで詳細に計画していただき、本当にお疲れ様でした。合わせて心よりお礼申し上げます。



【航空教室について】

11月8日に、日本航空(JAL)よりパイロット服部さんを講師に迎え、航空教室が開かれました。映像とクイズを交えながら、フライトにまつわることを大変分かりやすく説明してくださいました。さらに、コックピットからのみ見ることができる絶景の紹介もあり、子ども達は驚きや感動の声をあげながら、興味深く話を聞いていました。その聞く姿勢の素晴らしさやたくさんの質問を積極的にする子ども達の様子に、一緒にいらしたJAL関係者の方々も感心されていました。最後には、「性別も、文系理系といったことも関係ありません。思いやりがあってチームワークを大切にできる人、そして、自らやるべきことを見つけ、努力できる人であれば、誰でもパイロットになれますよ。」という言葉をいただきました。航空関連の仕事内容が分かる学習漫画がプレゼントされましたので、ぜひ読んでみてはいかがでしょうか。



【ドナウ祭を終えて】（ドナウ祭担当 原田・牛嶋・佐々木）

先日のドナウ祭は、保護者の皆様をはじめ、大勢の方々のご参加の下、盛大のうちに幕を閉じることができました。準備の段階から当日に至るまで、保護者の皆様におかれましては、種々ご支援いただき本当にありがとうございました。

子どもたちは、本番に向けて学年ごとにめあてをもち取り組んできました。保護者の皆様にも、本番での子どもたちの姿から、がんばって練習に取り組んでいた子どもたちの様子を感じ取っていただけたと思います。また、緊張した中でも子どもたちの笑顔が伝わっていたこと、とてもうれしく思いました。

ドナウ祭で達成感を味わった子どもたちですが、16日（水）に全校児童生徒で振り返りをしました。「準備から片づけまで意識してできた。」「まわりを見てきばきと行動できた。」と成果を感じさせる良い意見がたくさん出ましたが、一方で「練習の段階から、もっとまわりを見て行動した方がよかったと思う。」という課題も出てきました。最後に、「ドナウ祭で出た課題は、次のもちつきカルタ大会や普段の生活に活かしていきますしょう。」という実行委員長からの言葉がありました。その言葉を胸に、もちつきカルタ大会でも、今やるべきことに全力で取り組んでいきましょう。楽しみにしています。



【編入生の紹介】（教職員一同）

本日11月18日に新しい仲間が1名加わりました。小学部1年の榊原怜那さんです。全校児童生徒の前で立派に自己紹介することができました。1日も早く日本人学校での学校生活に慣れることを願っています。